

令和9(2027)年度(夏季) 九州大学大学院 地球社会統合科学府 修士課程学生募集要項



<目 次>

○アドミッションポリシー、募集人員、選抜区分	
○入試日程	
○出願について	
1. 出願資格及び出願書類について	
1－1. 一般選抜	1
1－2. 社会人特別選抜	4
1－3. 外国人特別選抜	7
2. 出願手続き（オンライン）	10
3. 出願期間	10
4. 受験票発行のお知らせ及び受験票印刷	10
5. 出願に係る注意事項	11
○2次選考について	
6. 2次選考日程及び試験場	12
7. 入学試験方法	12
8. 合格発表	13
○入学手続き等について	
9. 入学手続き及び入学時期	14
10. 長期履修学生制度について	14
11. 個人情報の利用について	14
12. 伊都キャンパスアクセス及び照会先	15
○教員一覧及び主な研究内容	16
○検定料支払方法	

○ アドミッション・ポリシー

1. 求める学生像

(1) 専門領域に限定されない地球社会への包括的な問題関心と幅広い基礎知識、(2) グローバルな場面で活躍できる語学力やコミュニケーション能力、(3) アカデミアと現場の垣根を乗り越えて問題解決に立ち向かう強い意思など、地球的諸問題や各種の現代的な課題に対して、他者と協力しながら、積極的に関与していこうとする態度と資質を有する学生を積極的に評価し、受け入れる。

2. 入学者選抜方法との関係

・「夏季」及び「冬季」入試では、本学府のアドミッション・ポリシーに合致する志願者を受け入れるため、提出された書類等に基づき、全ての選抜区分で1次選考を実施する。1次選考を通過した受験生に対し、一般選抜及び外国人特別選抜では、2次選考（外国語試験、専門試験、口述試験）を課す。(1)にかかわる資質や態度を評価するため、専門試験に加え口述試験を、(2)にかかわる資質や態度を評価するため、外国語試験に加え口述試験を、(3)に関わる資質を評価するため、口述試験を実施する。社会人特別選抜（外国語試験を免除し、提出書類を重視する）では、アドミッション・ポリシーに合致する意欲的な社会人を積極的に受け入れる。

・「個別選考試験」では、本学府のアドミッション・ポリシーに合致する特に優れた志願者を受け入れるため、1次選考を通過した受験生に対し、2次選考として希望指導教員との複数回にわたる事前の面談を経たうえで、口述試験を実施する。

○ 募集人員

地球社会統合科学専攻 60名

注1 募集人員は、夏季、冬季、個別選考試験及び国際コースの合計数である。

注2 募集人員には、一般選抜のほか、社会人特別選抜及び外国人特別選抜の募集人員を含む。

○ 選抜区分

- ・一般選抜（外国語試験：英語等）
- ・社会人特別選抜（外国語試験：課さない）
- ・外国人特別選抜（外国語試験：日本語）

※ 複数の国籍を保持する者や帰国子女等は、出願可能な選抜区分について、事前に人文社会科学系事務部学務課（地球社会統合科学府担当）に問い合わせること。

そのうえで、本学府が指定する書類を、令和8（2026）年5月13日（水）までに提出すること。

※ この試験に合格して入学する者は、日本語の講義を受講することになる。講義を英語で受けた場合は、別日程の国際コースに出願すること。

○ 入 試 日 程

入学資格審査申請（該当者のみ）	令和 8(2026)年 5 月 13 日（水）
出願期間（オンライン）	令和 8(2026)年 6 月 3 日（水） ～ 6 月 9 日（火） 17 時（日本標準時間）
検定料 支払い期間	令和 8(2026)年 6 月 1 日（月） ～ 6 月 9 日（火）
第 1 次選考 合格発表	令和 8(2026)年 7 月 24 日（金） 17 時頃
受験票発行	令和 8(2026)年 7 月 27 日（月） 頃
第 2 次選考（筆記試験）	令和 8(2026)年 7 月 30 日（木）
〃 （口述試験）	令和 8(2026)年 7 月 31 日（金）
合格発表	令和 8(2026)年 8 月 18 日（火） 15 時頃
入学手続期間	令和 9(2027)年 3 月 4 日（木） ～ 3 月 10 日（水）
入学時期	令和 9(2027)年 4 月 1 日（木）

○ 出願について

1. 出願資格及び出願書類について

1-1. 一般選抜

●出願資格

本選抜に出願することができる者は、日本国籍を有する者（日本国の特別永住者も含む）で、次の各号のいずれかに該当する者とする。

なお、在留資格が「留学」や「短期滞在」、「家族滞在」等の外国人留学生については、一般選抜には出願できない。

- (1) 学校教育法第 83 条に定める大学を卒業した者及び令和 9(2027)年 3 月 31 日までに卒業見込みの者
- (2) 学校教育法第 104 条第 7 項の規定により学士の学位を授与された者及び令和 9(2027)年 3 月 31 日までに授与される見込みの者
- (3) 外国において学校教育における 16 年の課程を修了した者及び令和 9(2027)年 3 月 31 日までに修了見込みの者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了した者及び令和 9(2027)年 3 月 31 日までに修了見込みの者
- (5) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置づけられた教育施設であって、文部科学大臣の指定するものの当該課程を修了した者又は令和 9(2027)年 3 月 31 日までに修了見込みの者
- (6) 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が 3 年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置づけられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者及び令和 9(2027)年 3 月 31 日までに授与される見込みの者
- (7) 専修学校の専門課程（修業年限が 4 年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者又は文部科学大臣が定める日以降に修了見込みの者
- (8) 文部科学大臣の指定した者
- (9) 学校教育法第 102 条第 2 項の規定により大学院に入学した者であって、本学府教授会において本学府における教育を受けるにふさわしい学力があると認めたもの
- (10) 本学府教授会において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、22 歳に達したものと及び令和 9(2027)年 3 月 31 日までに 22 歳に達するもの
- (11) 令和 9(2027)年 3 月末に次のいずれかに該当する者であって、本学府教授会の定める単位を優秀な成績で修得したと認めるもの。
 - ① 学校教育法第 83 条に定める大学に 3 年以上在学した者
 - ② 外国において学校教育における 15 年の課程を修了した者
 - ③ 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における 15 年の課程を修了した者
 - ④ 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における 15 年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置づけられた教育施設であって、文部科学大臣が指定するものの当該課程を修了した者

注 上記出願資格(9)、(10)または(11)で出願しようとする者は、あらかじめ入学資格審査を行うので、事前に

人文社会科学系事務部学務課（地球社会統合科学府担当）に問い合わせのうえ、本学府が指定する書類を、令和8(2026)年5月13日（水）までに提出すること。

●出願書類

書類 番号	書類名	注意事項
1	検定料（30,000 円）	e-支払いサイト (https://e-shiharai.net) へ事前申し込みの上、①コンビニエンスストア、または②クレジットカード・中国決済により支払うこと（海外からの支払いの場合は、②のみ）。支払い方法の詳細は、本要項に綴り込みの「九州大学コンビニエンスストア・クレジットカード・中国決済での入学検定料払込方法」を参照すること。 なお、振込手数料は、志願者が負担すること。 【支払い期間】令和8(2026)年6月1日（月）～令和8(2026)年6月9日（火） 出願期間内に支払いの証明が提出できるように支払うこと。 ①コンビニエンスストア支払い コンビニエンスストアで受領した「入学検定料・選考料・取扱明細書」をスキャンあるいは撮影したデータを提出すること。 ② クレジットカード・中国決済支払い 支払後、プリントアウトした「受付完了画面」をスキャンあるいは撮影したデータを提出すること。 e-支払いサイトにおける手順等の質問については、同サイト上の「FAQ」または「よくある質問」(https://e-shiharai.net/Syuno/FAQ.html)を参照した上で、イーサービスサポートセンターへ問い合わせること。
2	入学願書（Excel）	本学府ホームページの所定の様式を使用し、必要事項を漏れなく記入すること。 必ず Excel ファイルのまま提出すること。
3	本人写真（jpg 等）	出願前3か月以内・正面上半身脱帽で撮影したもの （600pixel×450pixel、縦4：横3の比率）を画像データで、「(2) 入学願書」と同じものを提出すること。なお、加工を施した写真は、受け付けない。 写真による本人確認が難しい場合は、受験が許可されない場合がある。
4	卒業（見込）証明書（pdf、jpg 等）	出身大学（学部）長が発行した卒業（見込）証明書または独立行政法人大学評価・学位授与機構が発行する学位授与証明書
5	成績証明書（pdf、jpg 等）	出身大学（学部）長が発行した成績証明書
6	志望理由書（pdf）	本学府の学際的な指向性を踏まえた志望動機をA4判縦置きで横書き1枚程度（様式任意）で記述し、提出すること（日本語400字程度または英語270 words程度）。
7	研究計画書（pdf）	「5（8）研究計画書の作成にあたって(p.11)」を参照しながら作成の上、pdf ファイルで提出すること。
8	研究計画書要旨（pdf）	本学府ホームページの所定の様式を使用し、日本語400字以内または英語270 words 以内にまとめた「研究計画書要旨」を pdf ファイルで提出すること。
9	住民票等（pdf、jpg 等）	出願時に日本に滞在している外国人は、住民票（国籍、在留資格、在留期間が記載されているもの）または在留カード（両面）を、スキャンまたは撮影したデータを提出すること。 出願時に日本に滞在していない外国人は、パスポートの氏名、国籍、写真、生年月日の記載されたページを、スキャンまたは撮影したデータを提出すること。
10	TOEIC、TOEFL または IELTS の成績証明書ないしスコアレポート（pdf）	※注3

注1 「1－1. 出願資格(9)、(10)または(11)」で出願する者は、資格審査の合格通知後、出願期間内に上記の1、3、9を提出すること。

注2 虚偽の書類や内容を提出した場合は、入学後であっても入学を取り消すことがあるので、注意すること。

注3 英語の成績評価は、TOEIC (IP: Institutional Program も可)、TOEFL (ITP: Institutional Testing Program も可) または IELTS のスコアを利用する。入学試験当日に英語の筆記試験は行わないので、各自、TOEIC、TOEFL または IELTS を事前に受験しておくこと。受験の際には、成績証明書ないしスコアレポートの発行が願書提出期間に間に合うよう留意すること。なお、成績証明書ないしスコアレポートに有効期限は設けないので、過去に受験して発行されたものは、すべて提出可能とする。

1－2．社会人特別選抜

●出願資格

本選抜に出願することができる者は、日本国籍を有する者（日本国の特別永住者も含む）で、職業経験あるいは社会的経験（家事、育児、介護等に従事している者、ボランティア活動等の経験を含む）を有する者で、次の各号のいずれかに該当する者とする。

なお、在留資格が「留学」や「短期滞在」、「家族滞在」等の外国人留学生については、社会人特別選抜には出願できない。

- (1) 学校教育法第 83 条に定める大学を卒業した者
- (2) 学校教育法第 104 条第 7 項の規定により学士の学位を授与された者
- (3) 外国において学校教育における 16 年の課程を修了した者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了した者
- (5) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置づけられた教育施設であって、文部科学大臣の指定するものの当該課程を修了した者
- (6) 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が 3 年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置づけられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者
- (7) 専修学校の専門課程（修業年限が 4 年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者又は文部科学大臣が定める日以降に修了見込みの者
- (8) 文部科学大臣の指定した者
- (9) 本学府教授会において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者

注 1 上記出願資格(2)に該当する者は、学位を授与される以前及び学位を授与されてからの社会人としての期間が、出願時において通算して 2 年以上経過していることが認められる場合にのみ、出願が認められる。

注 2 上記出願資格(9)で出願しようとする者は、あらかじめ入学資格審査を行うので、事前に人文社会科学系事務部学務課（地球社会統合科学府担当）に問い合わせのうえ、本学府が指定する書類を、令和 8(2026)年 5 月 13 日（水）までに提出すること。

●出願書類

書類 番号	書類名	注意事項
1	検定料 (30,000 円)	e-支払いサイト (https://e-shiharai.net) へ事前申し込みの上、①コンビニエンスストア、または②クレジットカード・中国決済により支払うこと（海外からの支払いの場合は、②のみ）。支払い方法の詳細は、本要項に綴り込みの「九州大学コンビニエンスストア・クレジットカード・中国決済での入学検定料払込方法」を参照すること。 なお、振込手数料は、志願者が負担すること。 【支払い期間】令和8(2026)年6月1日（月）～令和8(2026)年6月9日（火） 出願期間内に支払いの証明が提出できるように支払うこと。 ①コンビニエンスストア支払い コンビニエンスストアで受領した「入学検定料・選考料・取扱明細書」をスキャンあるいは撮影したデータを提出すること。 ② クレジットカード・中国決済支払い 支払後、プリントアウトした「受付完了画面」をスキャンあるいは撮影したデータを提出すること。 e-支払いサイトにおける手順等の質問については、同サイト上の「FAQ」または「よくある質問」(https://e-shiharai.net/Syuno/FAQ.html) を参照した上で、イーサービスサポートセンターへ問い合わせること。
2	入学願書 (Excel)	本学府ホームページの所定の様式を使用し、必要事項を漏れなく記入すること。 必ず Excel ファイルのまま提出すること。
3	本人写真 (jpg 等)	出願前3か月以内・正面上半身脱帽で撮影したもの (600pixel×450pixel、縦4:横3の比率)を画像データで、「(2) 入学願書」と同じものを提出すること。なお、加工を施した写真は、受け付けない。 写真による本人確認が難しい場合は、受験が許可されない場合がある。
4	卒業証明書 (pdf、jpg 等)	出身大学（学部）長が発行した卒業証明書または独立行政法人大学評価・学位授与機構が発行する学位授与証明書
5	成績証明書 (pdf、jpg 等)	出身大学（学部）長が発行した成績証明書
6	志望理由書 (pdf)	本学府の学際的な指向性を踏まえた志望動機をA4判縦置きで横書き1枚程度（様式任意）で記述し、提出すること（日本語400字程度または英語270 words 程度）。
7	研究計画書 (pdf)	「5（8）研究計画書の作成にあたって(p.11)」を参照しながら作成の上、pdf ファイルで提出すること。
8	研究計画書要旨 (pdf)	本学府ホームページの所定の様式を使用し、日本語400字以内または英語270 words 以内にまとめた「研究計画書要旨」を pdf ファイルで提出すること。
9	実績報告書 (pdf)	本学府ホームページの所定の様式を使用し、pdf ファイルで提出すること。 入学希望の動機：本学府に入学を希望する動機を300字程度で簡潔にまとめて記入すること。 アピールしたい事項の実績の概要：800字程度にまとめて記入すること。
10	住民票等 (pdf、jpg 等)	出願時に日本に滞在している外国人は、住民票（国籍、在留資格、在留期間が記載されているもの）または在留カード（両面）を、スキャンまたは撮影したデータを提出すること。 出願時に日本に滞在していない外国人は、パスポートの氏名、国籍、写真、生年月日の

		記載されたページを、スキャンまたは撮影したデータを提出すること。
11	受験許可書 (pdf)	入学後も在職のまま修学する予定の者は、本学府ホームページの所定の様式を使用し、所属長が発行する受験許可書を pdf ファイルにしたデータを提出すること。

注1 「1－2. 出願資格(9)」で出願する者は、資格審査の合格通知後、出願期間内に上記の1、3、9、10、11を提出すること。

注2 虚偽の書類や内容を提出した場合は、入学後であっても入学を取り消すことがあるので、注意すること。

1－3．外国人特別選抜

●出願資格

本選抜に出願することができる者は、日本国籍を有しない者（日本国の特別永住者を除く）で、次の各号のいずれかに該当し、在留資格「留学」を有する者または入学時まで「留学」を取得できる者。ただし、日本国の永住権ならびにそれに準ずる在留資格を有する者、または就労資格により在留している者は必ずしも「留学」に切り替える必要はない。

- (1) 学校教育法第 83 条に定める大学を卒業した者及び令和 9(2027)年 3 月 31 日までに卒業見込みの者
- (2) 外国において学校教育における 16 年の課程を修了した者及び令和 9(2027)年 3 月 31 日までに修了見込みの者
- (3) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了した者及び令和 9(2027)年 3 月 31 日までに修了見込みの者
- (4) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置づけられた教育施設であって、文部科学大臣の指定するものの当該課程を修了した者又は令和 9(2027)年 3 月 31 日までに修了見込みの者
- (5) 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が 3 年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置づけられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者及び令和 9(2027)年 3 月 31 日までに授与される見込みの者
- (6) 専修学校の専門課程（修業年限が 4 年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者又は文部科学大臣が定める日以降に修了見込みの者
- (7) 学校教育法第 102 条第 2 項の規定により大学院に入学した者であって、本学府教授会において本学府における教育を受けるにふさわしい学力があると認めたもの
- (8) 本学府教授会において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、22 歳に達したものと及び令和 9(2027)年 3 月 31 日までに 22 歳に達するもの
- (9) 令和 9(2027)年 3 月末に次のいずれかに該当する者であって、本学府教授会の定める単位を優秀な成績で修得したと認めるもの。
 - ① 学校教育法第 83 条に定める大学に 3 年以上在学した者
 - ② 外国において学校教育における 15 年の課程を修了した者
 - ③ 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における 15 年の課程を修了した者
 - ④ 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における 15 年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置づけられた教育施設であって、文部科学大臣が指定するものの当該課程を修了した者

注 上記出願資格(7)、(8)または(9)で出願しようとする者は、あらかじめ入学資格審査を行うので、事前に人文社会科学系事務部学務課（地球社会統合科学府担当）に問い合わせのうえ、本学府が指定する書類を、令和 8(2026)年 5 月 13 日（水）までに提出すること。

●出願書類

書類 番号	書類名	注意事項
1	検定料 (30,000 円)	e-支払いサイト (https://e-shiharai.net) へ事前申し込みの上、①コンビニエンスストア、または②クレジットカード・中国決済により支払うこと（海外からの支払いの場合は、②のみ）。支払い方法の詳細は、本要項に綴り込みの「九州大学コンビニエンスストア・クレジットカード・中国決済での入学検定料払込方法」を参照すること。 なお、振込手数料は、志願者が負担すること。 【支払い期間】令和8(2026)年6月1日（月）～令和8(2026)年6月9日（火） 出願期間内に支払いの証明が提出できるように支払うこと。 ①コンビニエンスストア支払い コンビニエンスストアで受領した「入学検定料・選考料・取扱明細書」をスキャンあるいは撮影したデータを提出すること。 ② クレジットカード・中国決済支払い 支払後、プリントアウトした「受付完了画面」をスキャンあるいは撮影したデータを提出すること。 e-支払いサイトにおける手順等の質問については、同サイト上の「FAQ」または「よくある質問」(https://e-shiharai.net/Syuno/FAQ.html) を参照した上で、イーサービスサポートセンターへ問い合わせること。
2	入学願書 (Excel)	本学府ホームページの所定の様式を使用し、必要事項を漏れなく記入すること。 必ず Excel ファイルのまま提出すること。
3	本人写真 (jpg 等)	出願前3か月以内・正面上半身脱帽で撮影したもの (600pixel×450pixel、縦4：横3の比率)を画像データで、「(2) 入学願書」と同じものを提出すること。なお、加工を施した写真は、受け付けない。 写真による本人確認が難しい場合は、受験が許可されない場合がある。
4	卒業(見込)証明書 (pdf、jpg 等)	出身大学（学部）長が発行した卒業（見込）証明書または独立行政法人大学評価・学位授与機構が発行する学位授与証明書。
5	成績証明書 (pdf、jpg 等)	出身大学（学部）長が発行した成績証明書。
6	志望理由書 (pdf)	本学府の学際的な指向性を踏まえた志望動機をA4判縦置きで横書き1枚程度（様式任意）で記述し、提出すること（日本語400字程度または英語270 words程度）。
7	研究計画書 (pdf)	「5（8）研究計画書の作成にあたって(p.11)」を参照しながら作成の上、pdf ファイルで提出すること。
8	研究計画書要旨 (pdf)	本学府ホームページの所定の様式を使用し、日本語400字以内または英語270 words 以内にまとめた「研究計画書要旨」を pdf ファイルで提出すること。
9	住民票等 (pdf、jpg 等)	出願時に日本に滞在している外国人は、住民票（国籍、在留資格、在留期間が記載されているもの）または在留カード（両面）を、スキャンまたは撮影したデータを提出すること。 出願時に日本に滞在していない外国人は、パスポートの氏名、国籍、写真、生年月日の記載されたページを、スキャンまたは撮影したデータを提出すること。
10	受験許可書 (pdf)	入学後も在職のまま修学する予定の者は、本学府ホームページの所定の様式を使用し、所属長が発行する受験許可書を pdf ファイルにしたデータを提出すること。
11	国費留学生証明書及び延長申請書	現在、国費（日本政府）留学生で令和9(2027)年4月以降の延長申請をしている者は、国費留学生証明書（出身大学で作成：様式自由）及び延長申請書の写しを提出のこと。検定料の納付が免除される。

注1 「1－3. 出願資格(7)、(8)、または(9)」で出願する者は、資格審査の合格通知後、出願期間内に上記の1、3、9を提出すること。

注2 虚偽の書類や内容を提出した場合は、入学後であっても入学を取り消すことがあるので、注意すること。

○ 出願手続きについて

2. 出願手続き（オンライン）（一般選抜、社会人特別選抜、外国人特別選抜）

出願手続きは、次の〔1〕、〔2〕の手順でオンラインにより行う。

出願登録フォーム

〔1〕 出願登録フォームの指示に従って、出願書類をアップロード

QRコード

以下の URL の出願登録フォームに従い、出願書類をアップロードし、必要事項を回答し、送信する。



出願登録フォーム：<https://forms.office.com/r/x7qgcJnpvX>

● 出願書類のアップロードの注意事項

- 1 各書類データのファイル名を「 誕生日 氏名 書類番号 書類名 」とすること。

例：誕生日が 4 月 15 日の場合 0415 九大太郎 2 入学願書

誕生日が 12 月 6 日の場合 1206 九大太郎 2 入学願書

※ 数字は全て半角にすること。 間にスペースは入れないこと。

- 2 すべての書類データを 1 つのフォルダに格納し、圧縮せずにフォルダのままアップロードすること。

アップロードする際のフォルダ名は、「 誕生日 氏名 」とすること。

例：誕生日が 4 月 15 日の場合 0415 九大太郎

誕生日が 12 月 6 日の場合 1206 九大太郎

※ 数字は全て半角にすること。 間にスペースは入れないこと。

- 3 Microsoft Edge、Firefox、Opera、Google Chrome、あるいは Safari の最新版を利用すること。
Internet Explorer には対応していない。
- 4 出願書類に不備や不足があるものは受理しないため、記入漏れや誤記のないよう十分注意すること。

〔2〕 メール受信

出願期間終了（6 月 9 日 17 時）後、3 日以内を目途に〔1〕に入力したメールアドレス宛に本学府からメールを送ります。

出願期間終了（6 月 9 日 17 時）後、3 日以上経っても本学府からのメールの受信確認ができない場合は、「12. 伊都キャンパスアクセス及び照会先（p.15）」を参照して、メールで問い合わせること。

3. 出願期間 令和 8(2026)年 6 月 3 日（水） ～ 令和 8(2026)年 6 月 9 日（火）17 時まで（日本標準時間）

郵送による出願は受け付けない。出願期間内にアップロードを完了すること。期間内にすべての必要書類の提出が確認できなかった場合は、出願を受理しません。

4. 受験票発行のお知らせ及び受験票印刷

受験票は、1 次選考合格者に対し、1 次選考の結果発表後に送信されるメール本文に記載されている URL から取

得し、印刷して試験日当日に持参すること。受験票は、大学から郵送しません。

なお、令和 8(2026)年 7 月 28 日（火）を過ぎても受験票を取得できない場合は、「13. 伊都キャンパスアクセス及び照会先（p.15）」を参照して、メールで問い合わせること。

5. 出願に係る注意事項

- (1) 出願後は、出願書類記載事項等の変更および検定料の払い戻しは行わない。ただし、1 次選考で不合格となった者に対しては、23,000 円を返還する。また、検定料納付後、出願しなかった者および受理できなかった者については、検定料を返還する。
- (2) 出願書類に不備や不足があるものは受理しないため、記入漏れや誤記のないよう十分注意すること。
- (3) 虚偽の書類や内容を提出した場合、志願者以外の者（生成系 AI ツールを含む）により作成したことが認められる場合や剽窃等があった場合は、不正行為とみなし、入学後であっても入学を取り消すことがある。
- (4) 提出した書類はいかなる理由があっても返却しない。
- (5) 出願書類のアップロード完了の確認に関するメール等による問い合わせには、一切対応しない。
- (6) 筆記試験（専門科目）は、「研究計画書」に記載した事項に関連の深いと思われる科目を 1 つだけ選択し、出願時に届け出ること。出願後の変更は認めない。
- (7) 研究計画書の内容に鑑み、希望コース名を原則として明記すること。
- (8) 研究計画書の作成にあたって

入学後に実施したいと考えている研究計画について、日本語で 4,000 字程度または英語 2,700 words 程度で簡潔にまとめること。ただし、以下の諸事項に関する記述をバランス良く含めるよう留意すること。1 次選考並びに 2 次選考における口述試験の際の重要な資料となるため、十分に練り上げられた内容のものとすること。

- ① 研究課題（入学願書、研究計画書要旨と一致すること）
 - ② 氏名
 - ③ 研究課題に取り組もうと決意するに至った経緯
 - ④ 研究課題について、具体的に解明したい事項
 - ⑤ この解明を行うことの学問的または社会的意義
 - ⑥ 上記の主たる研究課題と並行して、取り上げる可能性のある研究課題とその概要（特になければ書く必要はない）
- (9) 障害等のある志願者で受験上及び修学上必要な配慮を行う必要がある場合は、出願開始日の 1 週間前までに、下記 URL を参照して、書類を人文社会科学系事務部学務課（地球社会統合科学府担当）にメールで提出すること。

九州大学ホームページ 障害等のある入学志願者の合理的配慮について(大学院)

<https://www.kyushu-u.ac.jp/ja/admission/entrance/jizensodan/>

- (10) 大規模災害（対象になる災害は下記ホームページに掲載）の被災者で入学検定料の免除を受けようとする場合は、出願開始日の 1 週間前までに、下記 URL を参照して、書類を人文社会科学系事務部学務課（地球社会統合科学府担当）にメールで提出すること。

九州大学ホームページ 大規模災害により被災した九州大学志願者への入学検定料免除について

<https://www.kyushu-u.ac.jp/ja/admission/exemption/>

○ 2次選考について

6. 2次選考日程及び試験場

● 2次選考日程

試験期日	試験科目・時間		
令和8(2026)年 7月30日 (木)	筆記試験	外国語科目	10:00～12:00
		専門科目	13:30～15:30
7月 31日 (金)	口述試験		9:00～

※台風や大雪等の災害により、交通機関への影響や受験生の安全を考慮し、試験期日の変更や試験時間の短縮等試験日程を変更する場合がある。

※上記等の突発的な事象により、この要項に定めることに変更があった場合は、本学府のホームページ (URL: <https://isgs.kyushu-u.ac.jp/>) に掲載するので、適宜確認すること。

● 試験場 九州大学大学院地球社会統合科学府 (伊都キャンパスイーストゾーン)

〒819-0395 福岡市西区元岡 7 4 4

※ 試験室等試験の実施に関する詳細については、別途、通知する。

7. 入学試験方法

- (1) 入学者の選抜は、1次選考合格者に対し、2次選考を行う。
- (2) 1次選考は、提出された書類等により行う。
- (3) 1次選考の結果は、本学府のホームページ (URL: <https://isgs.kyushu-u.ac.jp/>) により、令和8(2026)年7月24日(金)17時頃に発表する。
- (4) 2次選考は、筆記試験及び口述試験により行う。筆記試験は、専門科目及び外国語科目について行う。
- (5) 専門科目と外国語科目

一般選抜の外国語科目のうち、英語については筆記試験を行わず、出願書類で成績評価を行う。

科目群	専門科目	外国語科目 (一般選抜)	外国語科目 (社会人特別選抜)	外国語科目 (外国人特別選抜)
自然科学系	① 地球科学	英語	外国語試験は課さない。	日本語
	② 生物学			
社会科学系	③ 政治学	英語		
	④ 経済学			
	⑤ 社会学			
	⑥ 文化人類学			
人文科学系	⑦ 哲学・西洋思想史	英語・中国語 から1科目選択		
	⑧ 言語コミュニケーション・言語教育			
	⑨ 近現代文学・比較文学			
	⑩ 中国言語文化			
	⑪ 歴史学			
学際系	⑫ 地理学	英語		
	⑬ 考古学			
	⑭ 自然人類学			
	⑮ 環境			
	⑯ 地域研究			

- (6) 筆記試験(専門科目)は、「研究計画書」に記載した事項に関連の深いと思われる科目を1つだけ選択し、出願時に届け出ること。出願後の変更は認めない。
- (7) 筆記試験(外国語科目)について
一般選抜は、自然科学系・社会科学系・学際系は英語必須。人文科学系は、英語または中国語から母語を除く1科目を出願時に選択し、届け出ること。出願後の変更は認めない。
社会人特別選抜は、外国語試験は課さない。
外国人特別選抜は、日本語必須。
- (8) 口述試験は、あらかじめ提出された「研究計画書」等に基づいて口頭で試問する。口述試験の時間割、試験室等については、試験1日目(令和8(2026)年7月30日)に発表する。
なお、筆記試験を欠席した受験者は、口述試験を受けることができない。

8. 合格発表 令和8(2026)年8月18日(火)15時頃

本学府のホームページ(URL : <https://isgs.kyushu-u.ac.jp/>) に合格者の受験番号を発表する。
なお、試験結果等についてのメール、電話等による問い合わせには一切応じない。
合格者には、郵送またはメールにより合格通知書を送付する。

○ 入学手続き等について

9. 入学手続き及び入学時期

●入学手続き

(1) 入学手続き期間：令和 9(2027)年 3 月 4 日（木）～令和 9(2027)年 3 月 10 日（水）

原則、郵送。窓口受付時間は 9 時 00 分から 16 時 30 分で、土・日曜日等は受け付けない。

(2) 入学料 282,000 円（予定）—— 入学手続きの期間内に納付すること。

(3) 授業料 267,900 円（前期分：予定）（年額 535,800 円：予定）—— 入学後徴収する。

※ ただし、上記の金額は予定額であり、入学時及び在学中に授業料改定が行われた場合には、改定時から改定後の新たな授業料を適用する。

●入学時期 令和 9(2027)年 4 月 1 日

10. 長期履修学生制度について

本学府では、職業を有している学生や身体に障害があるため修学に相当の制限を受けると認められる学生等に対し、長期履修学生制度を設けている。詳細は、以下のホームページを参照すること。

<https://isgs.kyushu-u.ac.jp/admissions/admissions6.php>

11. 個人情報の利用について

- (1) 出願書類に記載された個人情報は、入学者選抜で利用するほか、住所・氏名を合格者に対する入学手続の案内業務に利用する。
- (2) 出願書類に記載された個人情報は、入学者選抜後本学への入学を許可された者について、学籍関係業務等に利用する。
- (3) 入学者選抜試験の成績及びその他の個人情報は、1 年次における奨学生への推薦資料並びに入学料免除及び授業料免除等の選考資料として利用する。
- (4) 入学者選抜試験で利用した個人情報は、個人が特定できない形で、本学における入学者選抜に関する調査・研究資料として利用する。
- (5) 出願書類に記載された個人情報及び入学者選抜試験の結果等の個人情報は、「個人情報の保護に関する法律」に規定されている場合を除き、上記 4 項目以外の目的で利用することはない。

また、取得した個人情報を「個人情報の保護に関する法律」その他関連法令により認められる場合を除き、本人の同意を得ずに第三者に提供しない。個人情報の取扱いについては、あらかじめ以下の Web ページを確認すること。

<https://www.kyushu-u.ac.jp/ja/university/disclosure/privacy/>

1 2. 伊都キャンパスアクセス及び照会先

- 伊都キャンパスアクセス

<https://www.kyushu-u.ac.jp/ja/campus/ito/>

- 照会先：九州大学人文社会科学系事務部学務課（地球社会統合科学府担当）

Email：jbbkkyomugs@jimu.kyushu-u.ac.jp

- 九州大学大学院地球社会統合科学府ホームページ

<https://isgs.kyushu-u.ac.jp/>

教員一覧及び主な研究内容

次ページ以降の教員一覧を参照し、希望コースを選択して出願すること。

○包括的地球科学コース	17頁
○包括的生物環境科学コース	18頁
○国際協調・安全構築コース	19頁
○社会的多様性共存コース	20頁
○言語・メディア・コミュニケーションコース	21頁
○包括的東アジア・日本研究コースA	22頁
○包括的東アジア・日本研究コースB	22頁
○包括的東アジア・日本研究コースC	23頁
○包括的東アジア・日本研究コースD，水共生学	23頁

教員一覧及び主な研究内容

※ 客員教授、客員准教授とは、本学府が連携する国立科学博物館及び情報・システム研究機構国立極地研究所所属の兼任教員である。

○包括的地球科学コース

氏 名	職 名	研 究 内 容
青 山 雄 一 AOYAMA Yuichi	客 員 准教授	極域で地殻変動、氷床流動、海(氷)面変動などの計測技術開発と実際の計測を行い、人工衛星データや地上で展開している精密重力・海底圧力データなどと結合して極域の水質量分布変動を明らかにし、地球変動のメカニズム、またはそれに対する固体地球の応答などに関する研究を進めている。
菅 浩 伸 KAN Hironobu	教 授	本コース兼任。主担当の包括的東アジア・日本研究コース参照。
桑 原 義 博 KUWAHARA Yoshihiro	教 授	地球表層で起こっている鉱物の風化、変質、溶解、結晶成長等のメカニズムとプロセスを、電子顕微鏡、原子間力顕微鏡、X線回折装置などを用いてナノ～原子レベルで追跡・解明するとともに、その基礎データを基に過去の地球環境を復元し、未来の地球環境を予測する応用研究を進めている。
菅 沼 悠 介 SUGANUMA Yusuke	客 員 教 授	おもに東南極の露岩・湖沼・海洋堆積物を対象に、現地調査と、宇宙線生成核種分析や表面露出年代測定などの地質学・地球化学・磁気分析の手法を統合的に適用し、最終間氷期以降の氷床拡大・後退過程を高時間分解能で復元するとともに、とくに大規模な氷床融解メカニズムの解明に関する研究を進めている。また、過去の地磁気逆転記録の精密な年代決定や地磁気ダイナミクスの解析を通じて、更新世中期の国際年代層序（GSSP）におけるチバニアンへの認定に貢献するなど、地質年代や地磁気変動に関する研究も展開している。
仙 田 量 子 SENDA Ryoko	准教授	微量元素分析や同位体比分析などの地球化学的手法を用いて、地球とその内部についてを明らかにするための研究を行っている。特に我々の生活圏でもある地殻のすぐ下に存在しているマントルの物質循環やその年代推定、マグマが形成される際のマントルからの影響の見積もり、あるいは地球化学的手法を様々な分野の資料に応用するための手法開発などが現在のテーマである。
中 野 伸 彦 NAKANO Nobuhiko	准教授	火成岩や変成岩といった地球深部物質の形成メカニズムの研究を通して、アジア大陸の形成過程について解析している。近年は、埋蔵遺物などの考古学資料に対する精密分析手法の開発も行っている。
林 辰 弥 HAYASHI Tatsuya	准教授	世界各地の海洋・湖沼堆積物の多角的な分析を通して、新生代（過去6600万年間）の珪藻の分類・生態・進化学的な研究、および、過去の気候変動を復元する研究に取り組んでいる。
外 田 智 千 HOKADA Tomokazu	客 員 教 授	南極およびその周辺地域の地質学・岩石学・地球化学・年代学的研究によって、深部地殻での高温～超高温変成作用のプロセス、副次鉱物の挙動と年代論のリンク、ゴンドワナ超大陸の形成機構、太古代の地殻形成史の研究を行っている。

教員一覧及び主な研究内容

※ 客員教授、客員准教授とは、本学府が連携する国立科学博物館及び情報・システム研究機構国立極地研究所所属の兼任教員である。

○包括的生物環境科学コース

氏 名	職 名	研 究 内 容
荒 谷 邦 雄 ARAYA Kunio	教 授	生物の進化に関して、クワガタムシ科をはじめとするコガネムシ上科の甲虫を主な題材に、フィールドワークとラボワークの両面に渡って、生態学や行動学、系統・分類学など様々な視点から多角的に追求している。
井 手 竜 也 IDE Tatsuya	客 員 准教授	生物の多様性やその形成にかかわる要因についての理解を深めるため、昆虫類（特にハチ目）を題材に、比較形態学、生態学、分子生物学的手法による、系統・分類学的研究をおこなっている。
楠 見 淳 子 KUSUMI Junko	教 授	生物の進化機構を理解することを目的とし、遺伝子レベルでの進化機構、遺伝的変異の維持機構の解明に取り組んでいる。特に、樹木やそれに共生、寄生する昆虫を材料とし、分子進化学、集団遺伝学的研究を行なっている。
舘 卓 司 TACHI Takuji	准教授	昆虫類の双翅目（カ、アブやハエなど）の系統や進化に関する研究を行っている。特に、寄生性のヤドリバエ科について、雌の産卵戦略の進化、寄主選好性や寄主転換などの研究を進めている。
西 海 功 NISHIUMI Isao	客 員 教 授	遺伝的変異などから集団や種の歴史を推定する系統地理学的研究を中心に、親子判定や性判定による繁殖戦略の研究、DNAバーコーディングによる種同定システムの構築の研究など、鳥類の分子生態学的研究をおこなっている。
野 村 周 平 NOMURA Shuhei	客 員 教 授	森林や草原の土や落ち葉の中に生息する土壌動物の生態学的研究を行っており、とくにその一群であるアリゾカムシ類（昆虫綱コウチュウ目）についての分類、形態および系統に関する研究を深化させている。
百 村 帝 彦 HYAKUMURA Kimihiko	教 授	熱帯アジアや日本の地域社会を対象に、自然資源と人々の暮らしの関わりを探究しています。森林保全、アグロフォレストリー、気候変動対策、地域住民による資源管理などが主なテーマであり、地域研究の視点も取り入れながら、多様な社会・文化的背景を踏まえた実践的な研究を行っています。ラオス、バングラデシュ、ペルーなどの熱帯地域に加え、アジアの農山村でもフィールド調査を重ね、持続可能な自然資源の使い方や政策づくりに取り組んでいます。
藤 岡 悠一郎 FUJIOKA Yuichiro	准教授	専門は文化地理学。日本やシベリア、アフリカを中心に、森林や植物などの自然資源利用、農業や牧畜などの生業に関わる文化を対象として、地理的な分布や差異、歴史的な伝播などについて研究を進めている。
松 尾 和 典 MATSUO Kazunori	准教授	専門は昆虫学。寄生蜂の分類学的研究をとおして、生物多様性の解明に取り組んでいる。また、アジアを中心に、農業害虫やその天敵昆虫の生態解明を試み、被害抑制に向けた研究を進めている。
松 元 賢 MATSUMOTO Masaru	教 授	専門は環境微生物学。地球環境を守る微生物の役割と応用の観点から、特に熱帯地域の農業環境において、土壌中に生息する環境微生物の分類・同定および診断、地球温暖化にともなう高温土壌病害の生態的防除に関する研究を行っている。現在の研究テーマは、土壌汚染微生物、土壌病原微生物、微生物による環境修復、根圏微生物など。
山 下 潤 YAMASHITA Jun	教 授	環境・厚生をキーワードとして地理学の視点から内外の地域環境政策・計画に関する研究を進め、持続可能な都市の将来像を探求し、GISを用いた地域調査にもとづく地域づくりにも取り組んでいる。

教員一覧及び主な研究内容

○国際協調・安全構築コース

氏 名	職 名	研 究 内 容
阿 部 康 久 ABE Yasuhisa	准教授	主に中国を対象とした産業立地や人口移動といった経済地理学的研究。最近では、大学院生の関心に合わせて、中国進出外資系企業の立地に関する研究や、留学生の就学や就職に伴う人口移動や就業状況について勉強している。
稲 葉 美由紀 INABA Miyuki	教 授	国際ソーシャルワーク、地域・社会開発、エイジング。国連で途上国の貧困削減等のプロジェクトに関わった後、米国の社会福祉政策、貧困母子世帯の経済的自立支援、高齢者ケアに関する質的調査を実施。最近では貧困の予防、BHNsの充足に向けたエンパワメント実践、ケアとコミュニティ開発、社会的連帯経済などについて研究を進めている。
岡 崎 晴 輝 OKAZAKI Seiki	教 授	市民自治という観点から政治理論を再編する仕事に取り組んでいます。
施 光 恒 SE Teruhisa	教 授	政治理論・政治哲学。特に現代リベラリズム論、人権論。今後数年間は主に、リベラルな国家におけるナショナリティやエスニシティの適切な位置づけ、東アジアなど非欧米社会にも受容しやすい人権論の構築等の課題に取り組みたい。
堀 井 伸 浩 HORII Nobuhiro	准教授	中国を中心に、途上国の産業を研究。途上国の経済発展と産業の関わりとして、市場経済化など制度変化の影響に注目。本人は特にエネルギー産業や環境産業に関してフィールドワークを用いて分析しているが、研究室では様々な産業について幅広く分析対象としている。
益 尾 知佐子 MASUO Chisako T.	教 授	中国を中心に東アジアの国際政治を研究している。東アジア地域協力、中国の対外政策、中国をめぐる安全保障・海洋問題、中国の外交関連アクターの多元化、鄧小平期中国の政治経済などに関心がある。
山 尾 大 YAMAO Dai	教 授	中東政治、とくにイラク政治とイスラーム主義運動が専門。具体的には、大国の介入がもたらす中東域内政治の変化、イラクを中心とする紛争後の国家建設、社会運動としてのイスラーム主義などを研究している。
山 本 明日香 YAMAMOTO Asuka	准教授	専門は開発経済学、インド経済論。インドにおける宗教と経済行動の関係に関心があり、主に個人・家計レベルのマイクロデータを利用した実証分析を行っている。

教員一覧及び主な研究内容

○社会的多様性共存コース

氏 名	職 名	研 究 内 容
鎗 木 政 彦 KABURAGI Masahiko	教 授	19世紀以降のドイツ・日本・アメリカを視野にいれながら、近代社会における共同的生の思想史（政治思想史・比較思想史）に従事している。特に共生のプラクティスとしての政治と宗教に関心を持っている。
北 澤 満 KITAZAWA Mitsuru	准教授	近現代日本経済・経営史研究。主に①戦前期日本における石炭産業史、②財閥史研究（財閥系諸企業の企業間関係）、③戦前期の産業発展と実業教育の役割などについて考察している。
栗 田 健 一 KURITA Kenichi	准教授	専門は、応用ミクロ経済学、公共経済学、財政学。公共政策分析や集团的に形成される社会規範・価値観・スティグマと個々人の意思決定の相互依存関係の分析を行なっている。分析手法は、ゲーム理論やミクロ経済学等による理論分析とデータを用いた実証分析を中心とする。
毛 塚 和 宏 KEZUKA Kazuhiro	准教授	専門は社会学、数理社会学、計量社会学、計算社会科学。数理モデルと統計分析という研究手法と合理的選択理論という立場を軸にさまざまな社会現象のメカニズムの解明を目指して分析している。
源 河 亨 GENKA Toru	准教授	専門は哲学と美学。心理学や脳神経科学といった現代の認知科学の成果を利用して心に関する伝統的な哲学的問題に取り組み、さらにそれを応用して音楽鑑賞や美的判断に関わる美学の問題にアプローチしている。
コルナトウスキ・ヒェラルト Geerhardt KORNATOWSKI	准教授	本コース兼担。主担当の包括的東アジア・日本研究コース参照。
高 橋 誠 TAKAHASHI Makoto	准教授	国際社会学、ナショナリズム研究、スコットランド研究。特に、イギリスという国家のなかの一つのネイション、地域であるスコットランドにおけるナショナリズムを研究しながら、国民国家という社会の変容の理解を試みている。
藤 田 智 子 FUJITA Tomoko (令和8年(2026)年4月～ 令和9年(2027)年3月 長期研修のため不在)	准教授	専門は家族社会学、ジェンダー論、オーストラリア研究。近現代社会における国家・家族・ジェンダー・セクシュアリティの関係について研究している。特に、オーストラリアにおける家族をめぐる政策や政策議論を社会規範やジェンダー、セクシュアリティなどの点から分析している。
古 川 不可知 FURUKAWA Fukachi	准教授	専門は文化人類学、ヒマラヤ地域研究。ネパールのエベレスト地域を主たるフィールドとし、①シェルパと山岳観光の民族誌的研究、②山道と歩く身体をめぐる人類学的分析、③モビリティとインフラストラクチャーおよび社会変容の地域間比較、④「存在」をめぐる人類学理論の批判的検討などをおこなっている。
宮 地 英 敏 MIYACHI Hidetoshi	准教授	専攻は日本経済史・日本経営史。具体的には、①中小零細企業の歴史分析（陶磁器業など）、②エネルギー産業の歴史分析（石炭産業、電力業など）③九州・沖縄の経済史分析（陶磁器やエネルギー産業以外では、福岡銀行、博多織、西表島、農連市場、尖閣沖油田など）、④企業家史や経済・経営思想史
李 曉 燕 LI Xiaoyan	准教授	言語文化を人間社会のコミュニケーションを支えるダイナミックな知として捉え、知識科学の視点から研究している。知識科学とは、「知はいかに創造・共有・活用されるのか」を問う学問である。主に教育現場における学際的・多文化的な協働教育に対して、事例研究・アクションリサーチなど質的調査法によって研究を進めているが、その他、日本語オノマトペの学習システムの構築、学校プリントのコーパスの分析など量的調査も行っている。

教員一覧及び主な研究内容

○言語・メディア・コミュニケーションコース

氏 名	職 名	研 究 内 容
秋 吉 收 AKIYOSHI Shu	教 授	中国近代文学専攻。特に、魯迅を核としてアジアに拡がりを見せる中国近現代文学と、日本やヨーロッパ近代文学との交流関係を中心に研究を進めている。また、中国と日本の狭間に位置する台湾文学にも取り組んでいる。
李 相 穆 LEE Sangmok	教 授	外国語教育における教育方法論、言語情報処理論に関する研究を行っている。具体的にはマルチメディア外国語学習教材が学習過程に及ぼす学習効果を研究し、外国語学習のモデルが備えなければならない要素の解明に取り組んでいる。また、日本語教育や韓国語教育の分野では、e-learning教材を開発し、教育現場での実用化を図っている。
内 田 諭 UCHIDA Satoru	准教授	ことばの意味について、言語データ（コーパス）を基に、認知意味論を足場として研究を行っている。また、応用言語学（英語教育学（特にCEFR関係）、辞書学等）や言語学を軸とした異分野融合研究にも関心がある。
大 神 智 春 OGA Chiharu	教 授	日本語教育学および第二言語習得論。主に日本語学習者による語彙やコロケーションの習得について認知言語学的視点を取り入れた研究を行っている。また、日本語教育における指導法、教材開発および漢字・語彙教育に関する調査研究も行っている。
大 淵 貴 之 OHBUCHI Takayuki	准教授	中国古典文学専攻。唐代類書を始めたとした類書の編纂や利用の様態、伝存過程に於けるテキスト改変について研究している。また、中国類書の創作への利用という視点を中心に日本漢詩文についても研究をおこなっている。
郭 俊 海 GUO Junhai	教 授	第二言語・外国語としての日本語習得に加え、近年、シンガポールにおけるバイリンガル教育や言語政策論、日本における母語維持に関する調査研究にも取り組んでいる。
倉 方 健 作 KURAKATA Kensaku	教 授	フランス近代文学。特にポール・ヴェルレーヌをはじめとする19世紀後半の詩人とその作品を、当時の社会的・文化的状況に位置付ける研究をおこなっている。
朱 冰 ZHU Bing	准教授	言語学、中国語学。特に認知・機能主義的言語学（文法化、構文文法）と言語類型論のアプローチから、中国語のモダリティ表現や談話関連表現における意味・機能変化に関する研究を行っている。対照研究にも関心がある。
辻 野 裕 紀 TSUJINO Yuki	准教授	言語学、就中、韓国語学（朝鮮語学）、音韻論、日韓対照言語学を専門領域とする。これまでは主に韓国語の形態音韻論、音節接合論、アクセント論、方言学、語史に関わる論文を書いてきた。一方で、言語思想や言語教育などにも強い関心を持っており、より広い視座から、韓国語や日本語、さらには言語一般について考えることを目標としている。
土 屋 智 行 TSUCHIYA Tomoyuki	准教授	言語の慣習性や定型性について、人の認知と環境・社会との関わりから研究をおこなっている。研究対象とする言語は英語と日本語。慣習的・典型的な表現（ことわざ、慣用句、イディオムをはじめ、口癖やよくある言い回しにいたるまで）とその逸脱の現象について、大規模な言語データ（コーパス）を利用し、量的・質的に分析している。研究のバックグラウンドはコーパス言語学、認知文法、認知意味論、構文文法。
波 潟 剛 NAMIGATA Tsuyoshi	教 授	日本近現代文学・比較文学。安部公房をはじめ、昭和期におけるアヴァンギャルドの受容と変容について研究してきた。現在は1930年代、とくにモダニズムとエキゾティスムとの係わりに関心がある。
ホル・アンドリュース Andrew HALL	准教授	日本近代史。1905年から1945年までの日本帝国・植民地政策。特に植民地朝鮮と「満洲国」の教育・言語政策の研究を行っている。また、戦後日本の学生運動、特に1960年代の九州大学紛争の研究を行っている。
松 枝 佳 奈 MATSUEDA Kana	准教授	日本近現代文学・比較文学。明治～昭和期の文学者のロシア・ソ連認識や、日本近現代文学におけるロシアおよびソ連の表象・言説の研究に取り組んでいる。ひろく日本文学・文化における外国認識や、文学と社会、思想、マスメディア、芸術の関係に関心がある。
吉 嶺 加奈子 YOSHIMINE Kanako	講 師	日本語教育学、東南アジア研究、教育工学。「日本事情」における言語外能力を測るためのパフォーマンス評価を研究している。また東南アジアのタイおよびラオスの高等教育におけるDXやマイクロクレデンシャルの導入に関心を寄せている。そして言語の壁を越えたコミュニケーション支援方略としての「顔」に着目し、AI表情解析システムの教育現場への応用を目指している。
和 田 崇 WADA Takashi	准教授	日本近現代文学・比較文学。プロレタリア文学を中心に、戦間期（1920～30年代）の社会思想と文化の関係性や、文学作品における大衆表象の研究に取り組んできた。現在は、社会主義思想を媒介とした国際文化交流や日本文学の翻訳流通に関心がある。

教員一覧及び主な研究内容

○包括的東アジア・日本研究コースA

氏 名	職 名	研 究 内 容
澤 藤 りかい SAWAFUJI Rikai	講 師	主に日本を中心とした遺跡の土壌や古人骨・歯石などに対して、古代ゲノム・プロテオーム解析を実施し、ヒトが何を遺跡に持ち込んだのか、何を食べていたのか、どのような病気に感染していたかなど、文化や病気、物質的な側面に着目した研究を行っている。 また、古代分子を用いて、ヒトの様々な情報を得るための手法開発にも取り組んでいる。
鈴 木 舞 SUZUKI Mai	准教授	中国をはじめとする東アジア世界の形成について、殷周青銅器を主な研究対象として、技術史的観点から研究を行っている。また最近では、ユーラシア草原地帯の古代金属器との比較研究、契丹（遼）などの中世東アジアの金工技術研究にも関心を広げている。
田 尻 義 了 TAJIRI Yoshinori	教 授	先史時代の金属器生産に関する研究を行っている。特に弥生時代の青銅器生産について、鑄型と製品の両面から生産と流通、鑄造技術の解明を進めている。近年は遺跡から出土した考古資料の地球科学的手法を用いた分析や、近代陶磁器生産、戦争遺跡なども研究対象にしている。
辻 田 淳一郎 TSUJITA Junichiro	教 授	日本列島の古代国家形成過程に関する比較考古学的研究。弥生時代～古墳時代の遺跡から出土する物質文化の分析を基礎として、社会の複雑化の実態解明やその相対化を目指しつつ研究を行っている。
舟 橋 京 子 FUNAHASHI Kyoko	准教授	遺跡から出土する古人骨そのものや古人骨の出土状況など考古学的情報を用いて、先史・古代社会の通過儀礼と社会変容について研究を行っている。近年は古人骨の歯牙含有Sr同位体比分析に基づく原始・古代の人の移動に関しても取り組んでいる。
溝 口 孝 司 MIZOGUCHI Koji	教 授	a) 先史・原史社会の構造とその変容の研究。b) 近現代の社会の変容と、＜ディスコース＞としての考古学の構造変容との相関性の研究、これらを日本・ヨーロッパをフィールドとして推進している。
米 元 史 織 YONEMOTO Shiori	准教授	古人骨の形質の研究を行う。主に筋肉着部の発達度から身体活動を再構築し、社会的格差の展開に関する検討を行う。近年は3Dデータによる形態解析、弥生時代の骨形質の再検討、CT解析、博物館教員として展示によるアウトリーチ活動の実践も行っている。

○包括的東アジア・日本研究コースB

氏 名	職 名	研 究 内 容
伊 藤 幸 司 ITO Koji	教 授	東アジア交流史・日本中世史専攻。とりわけ、12～16世紀における日本列島と東アジア諸地域との交流の諸相を、交流を媒介した僧侶や海商、取り交わされる文物や情報などの視座から研究している。また、東アジア海域における港町について、文献史料のみならず、現地調査などの情報も加味しつつ考察を行っている。
オーガスティン・マシュー AUGUSTINE Matthew	准教授	近現代日本を中心とした東アジアの歴史について幅広く研究を進めている。そのなかで、帝国の崩壊と冷戦の展開、とりわけアメリカによる占領を中心的なテーマとし、戦後日本と東アジア諸国との国際関係構造に与えた影響について分析中である。
木 土 博 成 KIDO Hironari	准教授	近世日本の文献資料を用いて、とくに薩摩藩政史や、江戸幕府-薩摩藩-琉球の三者関係を研究している。また近年は、泡盛の流通、武家故実の相伝、朝鮮信使への馳走、といった複数のテーマに関心を寄せている。
小 林 亮 介 KOBAYASHI Ryosuke	准教授	19世紀後半から20世紀前半のチベット政治史を専門とする。チベットにおける近代の意味を、中国をはじめとするアジア諸地域が直面・経験した近代と比較しつつ検討していくことを目指している。
波 潟 剛 NAMIGATA Tsuyoshi	教 授	本コース兼担。主担当の言語・メディア・コミュニケーションコース参照。
松 本 洋 幸 MATSUMOTO Hiroyuki	教 授	専門は日本近現代史。水道や河川などのインフラと政治の関係や、都市形成との関わりなどを研究している。横浜の近現代アーカイブに勤務していた経験から、地域に残された様々な歴史資料に強い関心を寄せている。

教員一覧及び主な研究内容

○包括的東アジア・日本研究コースC

氏 名	職 名	研 究 内 容
長 田 紀 之 OSADA Noriyuki	准教授	東南アジア史専攻。20世紀前半のイギリス植民地統治下のミャンマー（ビルマ）を主要な研究対象とし、都市・移民・境界を手掛かりに、帝国と植民地主義、近代国家形成とナショナリズム、脱植民地化といった問題群について考えている。
鬼 丸 武 士 ONIMARU Takeshi	教 授	国際関係史、比較地域研究が専門。具体的には東アジア、東南アジア地域での植民地国家建設と、その宗主国の国家形成のプロセスを、主に治安や衛生などを対象にした国家による情報収集活動に焦点を当てて比較研究をおこなっている。
栗 田 健 一 KURITA Kenichi	准教授	専門は、応用ミクロ経済学、公共経済学、財政学。公共政策分析や集団的に形成される社会規範・価値観・ステイグマと個々人の意思決定の相互依存関係の分析を行なっている。分析手法は、ゲーム理論やミクロ経済学等による理論分析とデータを用いた実証分析を中心とする。
コルナトウスキ・ヒェルト KORNATOWSKI Geerhardt	准教授	アジア先進地域（特に香港とシンガポール）を中心に、社会問題や格差問題の都市社会地理学的研究に取り組んでいる。その中で、社会的弱者（外国人労働者やホームレス）への支援に関する政策・NPO支援活動の役割を考察していく。最近では、バングラデシュ・シレット地方における海外送金をベースにした都市化過程についての研究も進めている。
長 谷 千代子 NAGATANI Chiyoko	准教授	食を中心とする日常的な生活実践の調査をととして、現代世界における価値観のあり方や変化を明らかにすることに関心がある。具体的には、ヴィーガンやフレキシタリアンなどの菜食主義の動向、中国や日本の宗教文化、新たなアニミズム論、日本・台湾・中国における積徳の思想や実践について研究している。

○包括的東アジア・日本研究コースD、水共生学

氏 名	職 名	研 究 内 容
荒 谷 邦 雄 ARAYA Kunio	教 授	本コース兼任。主担当の包括的生物環境科学コース参照。
菅 浩 伸 KAN Hironobu	教 授	サンゴ礁などの浅海底地形とその形成史、環境変遷史に関する研究を行っている。海をテーマとして、自然科学から人文・社会科学に至る学際研究を展開して総合的な環境理解を進めるとともに、地球社会的課題への取り組みを進めている。
仙 田 量 子 SENDA Ryoko	准教授	本コース兼任。主担当の包括的地球科学コース参照。
藤 岡 悠一郎 FUJIOKA Yuichiro	准教授	本コース兼任。主担当の包括的生物環境科学コース参照。
安 田 章 人 YASUDA Akito	准教授	専門は、環境社会学と地域研究。北海道や福岡、アフリカのカメルーン、ハワイをメインフィールドとし、深刻化する国内の野生鳥獣問題や、観光活動であるスポーツハンティングと地域社会の関係など、人と動物の共存関係の構築について、社会科学的なアプローチによる研究をおこなっている。
渡 部 哲 史 WATANABE Satoshi	准教授	水循環および水循環と社会との関係について研究を行っている。特に水文学や水工学の知見を基に過去一現在一将来にわたる水循環の変化やその変化が社会に及ぼす影響の解明に取り組んでいる。また、地域における水関連課題の解決に向けた学際研究アプローチについても研究を進めている。

九州大学 コンビニエンスストア・クレジットカード・中国決済での入学検定料払込方法

1 Webで事前申込み

画面の指示に従って必要事項を入力し、お支払いに必要な番号を取得。

<https://e-shiharai.net/>



※番号取得後に入力ミスに気づいた場合はその番号では支払いを行わず、もう一度入力し直して、新たな番号を取得してお支払いください。
支払い期限内に代金を支払わなかった入力情報は、自動的にキャンセルされます。

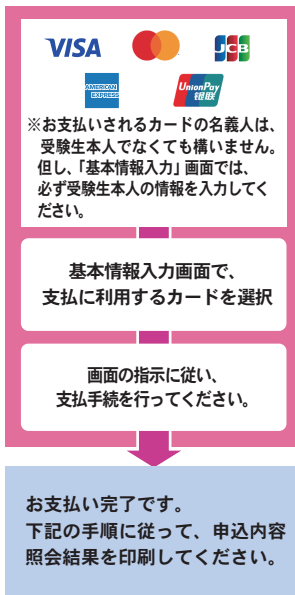
※クレジットカード・銀聯ネットは決済完了後の修正・取消はできません。
申込みを確定する前に、内容をよくご確認ください。

※確定画面に表示される番号をメモしてください。➡



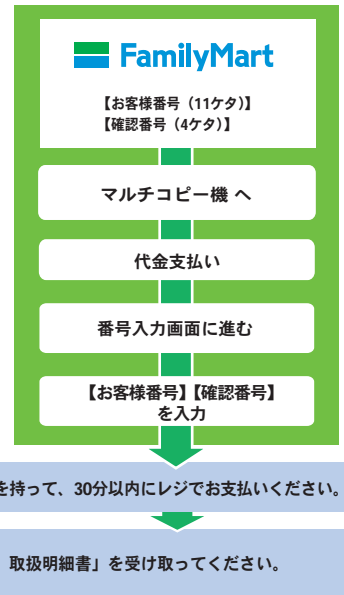
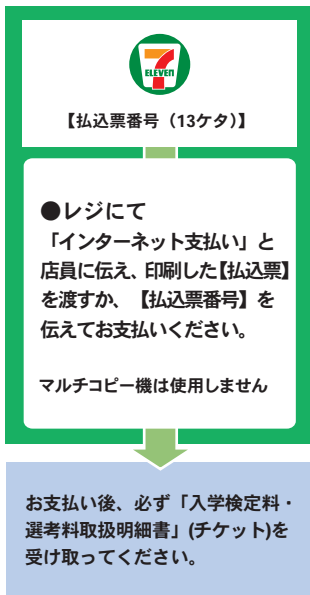
2 お支払い

クレジットカード・銀聯でお支払い



コンビニエンスストアでお支払い

- 入学検定料はATMでは振り込みできません。必ずレジでお支払いください。
- 店頭端末機の画面デザイン等は、予告なく変更される場合があります。



3 出 願

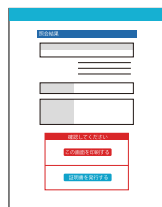
【クレジットカード・銀聯でお支払いの場合】

支払完了後、E-支払いサイトの「申込内容照会」にアクセスし、受付完了時に通知された【受付番号】と【生年月日】を入力し、照会結果を印刷して出願書類に同封してください。

<注意>

スマートフォンでお申込みされた方は、プリンタのある環境でご利用ください。

※クレジットカードでお支払いされた場合、「取扱金融機関出納印刷」不要です。

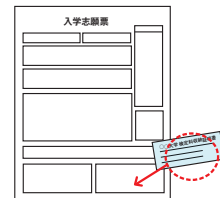


【コンビニエンスストアでお支払いの場合】

「入学検定料・選考料 取扱明細書」の「収納証明書」部分を切り取り、入学志願票の所定欄に貼る。



※「収納証明書」を糊付けする際には、糊本体の注意書きに「感熱・感圧紙などを発色させる場合があります」と記載されている欄はご使用にならないでください。「収納証明書」が黒く発色する恐れがあります。



※コンビニでお支払いされた場合、「取扱金融機関出納印刷」不要です。

⚠ 注意事項

- 出願期間を要項等で確認のうえ、締切に間に合うよう十分に余裕をもってお支払いください。
- 支払最終日の『Webサイトでの申込み』は23:00まで、店頭端末機の操作は23:30までです。クレジットカードの場合、Webサイトでの申込みと同時に支払いが完了します。23:00までにお手続きしてください。
- 「入学検定料払込」についてのお問い合わせは、コンビニ店頭ではお答えできません。詳しくはWebサイトをご確認ください。
- 一度お支払いされた入学検定料は返金できません。

- 入学検定料の他に事務手数料が別途かかります。詳しくはWebサイトをご確認ください。
- カード審査が通らなかった場合は、クレジットカード会社へ直接お問い合わせください。
- 銀聯でお支払いの方は、パソコンからお申込みください。（携帯電話からはお支払いできません）
- 取扱コンビニ、支払方法は変更になる場合があります。変更された場合は、Webサイトにてご案内いたします。